



山本坊開山・栄円の宝篋印塔（黒山・大平山）

栄円（不明～1413）室町時代の修験者です。応永5年（1398）、大字黒山に熊野神社を勧請し、のちに「本山派修験二十七先達」の一つに数えられる「山本坊」を開山しました。修験道の開祖・役行者像が祀られている大平山には、応永20年（1413）銘の供養塔（宝篋印塔）が建てられています。

越生浪漫

No.147

越生ゆかりの偉人
データベースから①

無極慧徹（1350～1430）南北朝～室町時代の曹洞宗の高僧で、龍穩寺（大字龍ヶ谷）の開山です。龍穩寺縁起によれば、永享2年（1430）に室町幕府六代將軍の足利義教が、祖先・戦没者供養のために扇谷上杉持朝に命じ、児玉党出身の無極を招いて開いたと伝わっています。

月江正文（不明～1462）無極慧徹に師事し、龍穩寺二世となりました。

泰叟妙康（1406～1488）月江正文に師事し、文明4年（1472）に、太田道真・道灌父子と龍穩寺を再興し、三世を嗣ぎました。

太田道真（1411～1492）扇谷上杉家の家宰を務めた室町後期の武将です。寛正2年（1461）に家督を道灌に譲り、越生に退隠しました。居館「自得軒」は建康寺（大字小杉）付近にあったと推定され、県指定旧跡「太田道真退隠地」に指定されています。文人としても名を残し、文明2年（1470）には、当代を代表する連歌師・心敬や宗祇を招いて連歌会「河越千句」を主催しています。



左：飯尾宗祇（Wikipediaより） 右：建康寺境内に立つ「太田道真退隠地」の碑



左：太田道灌（Wikipediaより） 右：太田道真・道灌の墓（龍穩寺）



田代三喜生地（大字古池）

中山村（現飯能市中山）から如意村（現大字如意）に遷したと伝わる「木造如意輪観音半跏像（県指定文化財）」などがあります。

田代三喜（1465～1537）医聖と称えられる室町時代の名医です。医家・田代兼綱の子として田代村（現大字古池）に生まれたと伝えられています。明に留学し李朱医学を修め、古河公方・足利政氏に招かれて侍医となり、各地を巡って庶民の医療に尽くし「古河の三喜」と呼ばれました。弟子には医学中興の祖・曲直瀬道三がいます。

「埼玉の偉人データベース」
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0305/jindatabase/index.html>



梅園小学校

令和3年度の入学式では、10名の新生を迎え、全校児童72名でスタートしました。緊張した様子の1年生でしたが、大きな声で返事ができました。新年度も引き続き、学校スローガンの「いつでも元気、本気、根気の梅園小」を目指してがんばります。



越生小学校

4月8日、42名の新1年生を迎え入学式を行いました。担任から一人ひとり名前を呼ばれた1年生は、元気よく返事をすることができました。また、6年生から歓迎の言葉を受け、とてもうれしそうでした。



越生中学校

4月8日、令和3年度第75回入学式が行われ、71名の生徒が越生中学校の一員となりました。「授業・行事・部活動」に一生懸命に取り組む先輩たちを見習って頑張りましょう。



おごせ* 広場

町内の小中学校や町の行事等に参加する子供たちを写真で紹介するコーナーです。

ICT支援員の配置

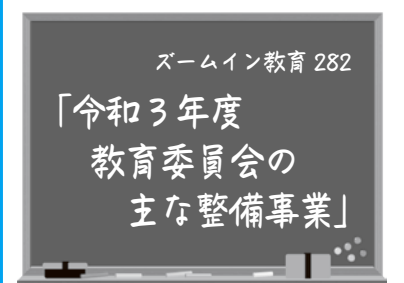
令和2年11月中に、越生町の小・中学校に通うすべての児童・生徒に一人一台のパソコンが整備されました。

パソコンを、授業での活用や家庭とオンラインでつなぎ、効果的に活用していくために、本年度はICT支援員を配置しました。

①ICTを活用した授業実践のサポートをします。
②家庭での個別学習が可能な学習プリント等の共有化を図るため、先生方をサポートします。
③家庭に向けて、学校行事等のライブ配信サポートをします。



▲ライブ配信をサポートするICT支援員



越生小外トイレ・梅園小体育館トイレ改修

越生小学校、梅園小学校は災害時の避難所となります。避難所としての機能を強化するために、越生小学校外トイレと梅園小学校体育館トイレの、改修工事を行います。

さらに、避難所としてだけでなく、社会体育行事など町の行事でも有効に使用することが可能になります。



▲現梅園小学校体育館トイレ

越生市・グラウンド改修工事

令和2年度末から、上グラウンドの改修工事を行っています。体育授業、部活動、社会体育（スポーツ団体）等で活用していますが、大変コンディションが良くなっています。



▲砂を追加・攪拌し、レーキで整備されたグラウンド